



# 看護職の働き方改革



病床数：165床 入院科：一般基本科4、緩和ケア病棟1、回復期リハビリテーション病棟1、地域包括ケア病棟1 ■職員数：看護師常勤128人、非常勤29人、准看護師常勤1人、非常勤3人（2022年12月） ■看護職員平均年齢：41.0歳（2023年1月） ■看護職員離職率：14.7%（2021年度）

## 正循環勤務導入による夜勤負担軽減

地域の健康を守るために、救急から在宅医療・介護まで幅広く取り組むあすかい病院。看護職が健康で働き続けられる環境を目指し、2020年9月に三交代制勤務における正循環勤務を導入した。

導入のきっかけは、同院の労働組合が、自分たちの体を守るために、夜勤の労働削減やリスク負担の軽減などについて活動を始めたことだ。先行して取り組みを進めた同じ民医連の病院を参考に、労働組合が開催した労働科学の専門家による勉強会には、管理者も参加し知見を深めた。征矢陽子看護部長は「夜勤数を軽減するには看護師確保が必要であり、診療報酬の兼ね合いからも、すぐに対応できることではなかった。しかし、正循環勤務の要望は体の負担を少なくするという意味で、労働組合と管理者の双方が協力して取り組める課題だと認識した」と振り返る。

## 三交代制勤務における正循環勤務を導入

正循環勤務とは、人間の生体リズムの特性に合わせた働き方。おおむね25時間周期で、24時間ご

とに1時間ずつ後ろにずれていく。この特性に逆らわずに働くため、勤務の開始時刻を前の勤務開始時刻より遅く設定する（日勤→準夜勤→休み→深夜勤など）。同院では夜勤の負担を減らすため、この正循環勤務を導入した。また、4週6休体制を4週8休制に変更する課題もあり、正循環勤務と同時に変更できないかと併せて計画を進めた。

4週8休制に向けては、1日の勤務時間を30分増やして8休を確保した。さらに4週8休制と正循環勤務に変更をすることで、勤務にどのような変化が起こるかを見るために、本来の勤務表とは別に、新たな条件での勤務表も作成し、シミュレーションも行った。作成をする師長の負担はあったが、違いを見ることでイメージがしやすくなった。勤務表を作成する上では、以前より労働組合との協定や約束事項とした、夜勤回数の上限（月9回）や月2回の連休（もしくは1回の3連休）の組み入れ、深夜勤の連続は行わないという内容に加え、夜勤前の日勤は3日までにする努力目標を作った。さらに正循環では、準夜勤の翌日が休みで、翌々日が深夜勤となり、間の休日は多くを睡眠時間に充てることになる。これに配慮して、同院では月に8回以上夜勤をした看護師を対象に、「夜勤休暇年3日」を導入。比較的休日の少ない、6、10、3月に取得できるように調整を行った。

導入2カ月後のアンケートでは、「導入して良かった」との回答は37%にとどまり、新しい勤務体制に「体が慣れない」「ペースがつかめない」などの意見があった。これが、導入2年後には「導入して良かった」が53%で増え、「体が楽になった」と変化を感じている。ただ「特に若い世代は、準夜勤の後の休みの使い方に難しさを感じている

ようだ」と征矢看護部長。職員には、自分の体を守りよりよい看護を提供するためには、休日の過ごし方を考えることも大切と伝えていきたい。



新人・途中採用者集合研修

では働き方についても伝える

## 健康で長く働き続けられる環境を目指して

今後も負担の少ない夜勤・交代制勤務に取り組んでいく同院。征矢看護部長は「看護職の処遇改善や地位向上はいまも変わらない課題だ。看護職の確保や定着につなげていくことが、患者や家族へのケアの向上につながる。そのためには、診療報酬の看護処遇に関する評価はもちろんの事、未来の看護師を育てる教育の現場にも力をいれ、看護師確保と共に健康で長く働き続けられる政策に考えていきたい」と幅広い活動に意欲をみせている。

## Q&A ナースのはたらく時間・相談窓口

### 相談

非管理職の看護師も「高度な知識経験に基づき困難な業務を処理する看護師」として処遇改善するということですが、クリニックにも適用になるのでしょうか。

### 回答

賃金制度はそれぞれの施設・組織が決めるものですが、このたびの国家公務員医療職俸給表（三）の見直しを機に、全国的に処遇改善の機運が高まることが期待されます。まずはお勤め先の賃金制度について説明してもらおうと第一歩です。その上で同僚の皆さんとともに、賃金の在り方、処遇の考え方に希望をお伝えになり、改善を強く働き掛けていきたいと思います。

ナースのはたらく時間・相談窓口  
hataraku@nurse.or.jp FAX 050-3737-2820

ナースセンター をご利用ください



都道府県看護協会による無料職業紹介事業を行っています。詳細は左記の二次元コード（e ナースセンター）をご覧ください。